

会 議 録	
会 議 名	令和4年度 第1回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	令和4年10月20日(木) 13:30~15:05
開催場所	オンライン(Webex)
出席者	<p>出席委員 原 真志、久富 啓至、東原 隆啓、相原 しのぶ、佐久間 知恵、西川 真智子 三谷 幸代、塩田 覚、伊藤 智也、岡崎 英幸、宮本 龍河</p> <p>欠席委員 漆原 光徳、中村 優、高木 和代、香川 佐知子、佐藤 国夫、高木 明美 岩崎 正朔、原 彩乃</p> <p>事務局 市長公室長 山地 幸夫 (秘書政策課) 課長 窪田 徹也、政策マネジメント室長 高倉 鋭吾 政策マネジメント室総括担当長 宇野 大志郎、主任 大川 智</p>
議 題	<p>1. 第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
窪田課長	<p>ただ今より、令和4年度第1回丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会します。本日は大変お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>また、本日の会議は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、オンラインでの開催にさせていただきました。</p> <p>それでは議事に入る前に、資料の確認をします。事前にお送りした資料が「次第」、「資料①：第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプラン」の2点となります。</p> <p>それでは、ここからの議事の進行については、丸亀市附属機関設置条例第7条の規定により、原会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
原会長	<p>それでは、会議を進めさせていただきます。本日の会議ですが、委員総数が19名中11名の出席であり、過半数を満たしておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>本日の議事は、</p> <p>(1) 第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について</p> <p>(2) その他</p> <p>の2件であります。まず、「(1) 第2期丸亀市未来を築く総合戦略アクションプランの進行管理について」事務局より説明をお願いします。</p>
大川	(資料に基づき説明)

原会長	<p>基本目標ごとにご意見をいただきたいと思います。基本目標1でご意見はありますか。</p>
伊藤委員	<p>目次で示しているA～Eの評価について、基準が分かりにくかったので捕捉説明をお願いします。</p> <p>また、成果目標のKPIに出生数を設定していますが、校区や地域別に把握していますか。</p>
大川	<p>評価基準については、基本的に各KPIの目標に対する実績に基づき評価をしていますが、コロナ禍というところもあり定量的な評価だけではなく、コロナで本来事業を中止する代わりに代替事業をしたなどの定性的な評価を含め担当課が評価を行っています。評価基準があいまいである部分については、今後の課題とさせていただきます。</p> <p>また、校区・地域別の出生数については、現状把握できていません。</p>
伊藤委員	<p>評価基準が少しあいまいになっているところがありますので、分かりやすく改善していただければと思います。</p> <p>また、出生数の校区別については、各学校の在籍生徒数を確認していただくと地域の状況が分かると思います。今後、地域がどのように推移していくか参考になると思いますので、施策の参考にしていただければと思います。</p>
原会長	<p>校区・地域別の差を把握することは、政策を検討する上で重要な視点ですので、検討していただきたいと思います。</p>
塩田委員	<p>第3子以降の出生数について、実績値が年度ではなく暦年になっている理由と、進行管理の状況・結果の2021（R3）に示している出産祝金180件と第3子以降の出生数の関連性が分かりにくいので説明をお願いします。</p> <p>また、第3子以降の出生数の目標値を200人に設定した理由と、丸亀市の合計特殊出生率の目標値を教えてください。</p>
大川	<p>実績値については、厚生労働省の発表数値を参照しており、その数値が暦年であることから、本市も暦年としています。</p>
窪田課長	<p>厚生労働省の発表が1年遅れることから、基準年と実績に1年のずれが生じています。そのため、進行管理の状況・報告の2021（R3）でお示ししている出産祝金180件に対応する第3子以降の出生数については、現在未発表ということになります。暦年と年度、基準年と実績のずれにより分かりにくい部分については、補足説明を加えるなど対応させていただきます。</p>

宇野	<p>第3子以降の出生数の目標値200人については、基準値191人（2017年）より多くを目指すという理由で設定しています。</p> <p>また、市の目標人口の積算根拠の一つとして合計特殊出生率を1.80と設定しています。この合計特殊出生率1.80に基づきどのくらいの出生数が見込まれるかというのが、成果目標である出生数の目標値4,600人（2020～2024年）で、目標値どおりに推移していけば人口ビジョンも良い方向に向かっていくとご理解ください。</p>
東原委員	<p>人口推計と長期的な見通しの比較のところ、かがわ人口ビジョン準拠と丸亀市独自推計には、どのような違いがありますか。</p>
宇野	<p>人口ビジョンの積算にあたっては2点の積算根拠を置いており、1点目が先ほどの合計特殊出生率で香川県と同じ率を設定しています。2点目が人口の移動率、いわゆる転出入の社会増減になりますが、丸亀市は子育て世代（20～39歳）の社会増減率を香川県より+2%と設定していることから違いが出ています。</p>
東原委員	<p>死亡率はどこの推計を根拠としていますか。</p>
宇野	<p>国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠しています。</p>
原会長	<p>次に、基本目標2でご意見がありますか。</p>
西川委員	<p>ハラスメント対策の強化について、訪問した企業にDV相談シールの貼付を依頼するだけではなく、企業内に専用相談窓口を設置してもらえるようお願いするのはどうでしょうか。</p>
窪田課長	<p>DV相談窓口の普及・啓発などを目的に産業観光課の企業訪問員と一緒に企業訪問をしていますが、西川委員のご意見である社内の相談窓口の設置についても、一歩進んだ取組として今度の検討課題になろうかと思えます。担当課にも西川委員のご意見をお伝えさせていただきます。</p>
西川委員	<p>企業内に相談窓口が設置されることで抑止力にもつながると思えますので、検討をお願いします。</p>
原会長	<p>地元企業PR事業について、地元への愛着を持つ人材を育成すると説明がありましたが、参加者のアンケートを実施するなど事業効果を把握していますか。</p>
大川	<p>生徒と事業者向けのアンケートを実施しており、概ね参加して良かったという回答をいただいています。将来的な地元へのUターンにつながると考え事業に取り組んでいます。</p>

原会長	<p>2年ほど前に香川県の子どもの自己肯定感が、全都道府県中最下位であるという報道がありました。この地元企業PR事業は、自分自身の肯定感や地域への愛着の向上、将来的なUターンが期待されるので、事業効果をしっかり把握し、中長期にわたり取り組んでいただきたいと思います。</p>
相原委員	<p>今回のアクションプランでは、2020～2021年度の2年間の評価をお示しいただいていますが、2021年度に評価が下がっている取組において、2022年度の取組の計画が2021年度と同じ内容である取組が見受けられました。こういう取組については、具体的な改善策を検討し取り組む必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、現在の評価については、担当課の自己評価になるのでしょうか。</p>
大川	<p>D評価の取組については、2021年度に計画した取組が計画どおりにできなかったことにより、その評価になっていると認識しています。2022年度に前年度と同じ内容の取組についても計画どおりに取り組むことができれば、Cやそれ以上の評価につながってくると考えていますが、相原委員のご意見も参考にさせていただきます。</p> <p>また、評価については、担当課の自己評価となっております。</p>
相原委員	<p>評価について、前年度と同じ内容で計画どおりに進めば良しとするのか、それとも取組の改善が必要なのかについても、アクションプランの状況・結果で分かりやすくお示しいただけるとありがたいです。</p> <p>また、担当課の評価だけではなく、外部の評価が反映されるような仕組みがあれば良いと思いました。</p>
窪田課長	<p>丸亀市の考えとしましては、まず前年度の実績に対し、お示ししている評価基準に基づき担当課が自己評価を行い、このアクションプランにまとめています。その評価結果を見ていただいて、この未来を築く地域戦略会議で内容を審議し、ご意見を賜り、次年度の取組につなげていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。</p>
原会長	<p>相原委員のご指摘のとおり、計画どおりにできなかった場合についての検討や今後の改善点などを、進行管理のところに記載していただければと思います。</p> <p>また、創業支援については、目標値を上回りB評価となっておりますが、どのような業種の創業が多いのか教えてください。</p>
窪田課長	<p>2021年度の実績で申し上げますと、飲食、美容、小売、不動産などの業種の創業となっております。</p>
原会長	<p>次に、基本目標3でご意見はありますか。</p>

伊藤委員	<p>市民球場の利用人数や稼働率の向上については、完成当初から課題とされていますが、当時思い描いていたビジョンと現状を比較し、利用人数や維持管理に係るコストなどについてどう考えていますか。</p>
窪田課長	<p>現状について申し上げますと、2024年度の目標値90,000人に向けて利用者数を増やしていこうとしていますが、2021年度はコロナの影響もあり、47,797人と約半数程度に留まっています。今年度については、ウエスタンリーグ公式戦を3年ぶりに開催するなど回復の兆しが出てきていることから、Withコロナやアフターコロナといった社会環境の変化を踏まえながら活用方法について、引き続き検討していきたいと考えています。</p>
伊藤委員	<p>コロナの影響もあると思いますが、利用人数やコストの問題をどうにかしないといけないと思います。これまでも同様の回答をいただいている気がしますので、何か違うことをしなければならぬのではないのでしょうか。</p>
原会長	<p>コロナが収束し以前の状態に戻れば良いという問題ではなく、根本的な活用方法などについて、しっかりと検討する必要があると思います。</p> <p>また、離島振興については、塩飽諸島の広島において、包括連携協定を締結したトリドールホールディングスがコミットを強め、地域再生計画に基づく取組を本格化すると聞いています。KPIに掲げている尾上邸の活用促進など、様々な取組が有機的につながり、島全体が活性化するよう積極的に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>最後に、基本目標4でご意見はありますか。</p>
三谷委員	<p>私が所属する社会福祉協議会では、貸付事業を行っており、貸付を希望する多くの外国人が窓口に来られています。そこで、外国人向けの総合的な窓口があれば良いと思いますが、お考えをお聞かせください。</p>
窪田課長	<p>外国人の人口については、コロナによる入国制限により技能実習生を中心に減少傾向にありましたが、今年に入って入国制限が緩和されたことに伴い、現在、丸亀市では約2,000人が生活されています。外国人の生活支援については、国際交流協会が相談窓口の役割を担っていますが、KPIでお示ししているとおおり、コロナの影響により相談件数は大幅に増えている状況で、内容によっては、社会福祉協議会の窓口におつなぎし、ご支援いただいています。社会福祉協議会においても、引き続き外国人の生活支援をお願いできればと考えています。</p>
三谷委員	<p>社会福祉協議会においても、引き続き支援体制を整えていきたいと考えていますが、外国人特有の文化の違いなどに苦慮する場合がありますので、今後とも国際交流協会と連携して対応したいと考えています。</p>

原会長	<p>丸亀市の民間事業者において、ロサンゼルス市郊外のハンティントンライブラリーという美術館に、丸亀市の古民家を移築するプロジェクトが進行しており、コロナの影響で遅れは生じましたが、2023年秋くらいにオープンする予定となっています。非常にニュースバリューの高い内容であることから、この機会を捉え、丸亀市へ関心を持っていただけるような情報発信を行うなど新しい取組を検討していただきたいと思います。</p>
東原委員	<p>全体的にC評価が多く、計画どおりの成果が出ていると思いますが、その成果に対する総評的な表現を人口の推移のページに記載するのはいかがでしょうか。結果検証を確認する上で、丸亀市独自推計の目標人口に対する状況が見えると分かりやすいと思います。</p>
原会長	<p>総合戦略の考え方としては、目標人口達成に向けて、基本目標に掲げる取組を実施していますので、時点における総評、例えば数値的な特徴や代表的な取組の特徴などをまとめて表現することで、分かりやすくなると思います。</p>
宇野	<p>表現の仕方については、人口ビジョンに掲げる予測人口との比較など、工夫していきたいと思います。</p>
東原委員	<p>読み手に分かりやすく、表現されていれば良いと思います。 また、評価基準についてもあいまいな部分が見受けられますので、もう少し基準を明確にすることで評価する側も評価しやすくなると思います。</p>
原会長	<p>内容によっては、目標値を上回っているのにC評価になっている取組も見受けられますが、改めて評価基準に対する考えはありますか。</p>
窪田課長	<p>現在、担当課において自己評価をしているところですが、評価者が違うこともありばらつきが出ていることが、今回のご意見につながっていると認識しています。このような評価のばらつきの解消に努めてはいきますが、担当課の自己評価として受け止めていただき、率直なご意見をいただければと考えています。</p>
大川	<p>欠席の岩崎委員よりご意見を預かっていますのでご紹介させていただきます。 市の施策を展開するにあたり、地域コミュニティ組織が重要な役割を担っていると認識しています。この数年間、自治会加入者を増やすために地域内を巡回していると、市民生活に関わる課題解消に向けて、コミュニティが市民と行政の架け橋となっていることを多く体験したことから、コミュニティ組織のさらなる強化を課題として考えていただきたいと思います。 このご意見については、担当課にお伝えしたいと思います。</p>

原会長	<p>他にご意見もないようですので、最後に議事の「(2) その他」について事務局より何かありますか。</p>
山地市長公室 長	<p>東原委員よりご意見をいただきました総合戦略の目標人口については、人口の増減を市民の皆さまに丁寧にお知らせすることが大切であると思います。なお、2022年10月1日現在の人口は108,541人となっており、これまで緩やかであった人口減少のカーブが大きくなっていることから、取組を強化していかないといけないと考えています。</p> <p>また、委員の皆さまの任期が、2022年12月16日までとなっており、今回の会議が最後となります。総合戦略の取組は、行政だけで取り組めるわけではなく、民間等の皆さまのお力をいただきながら継続して人口減少対策にあたってまいりたいと考えていますので、今後ともご支援ご協力を賜りたいと思います。ありがとうございました。</p>
原会長	<p>他に委員より何かありましたらお願いします。</p> <p>(特になし)</p>
原会長	<p>他にないようですので、以上をもちまして、本日の会議を終了します。</p> <p>委員の皆さまにおいては、任期期間中様々なご意見をいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。</p> <p style="text-align: right;">(会議終了)</p>